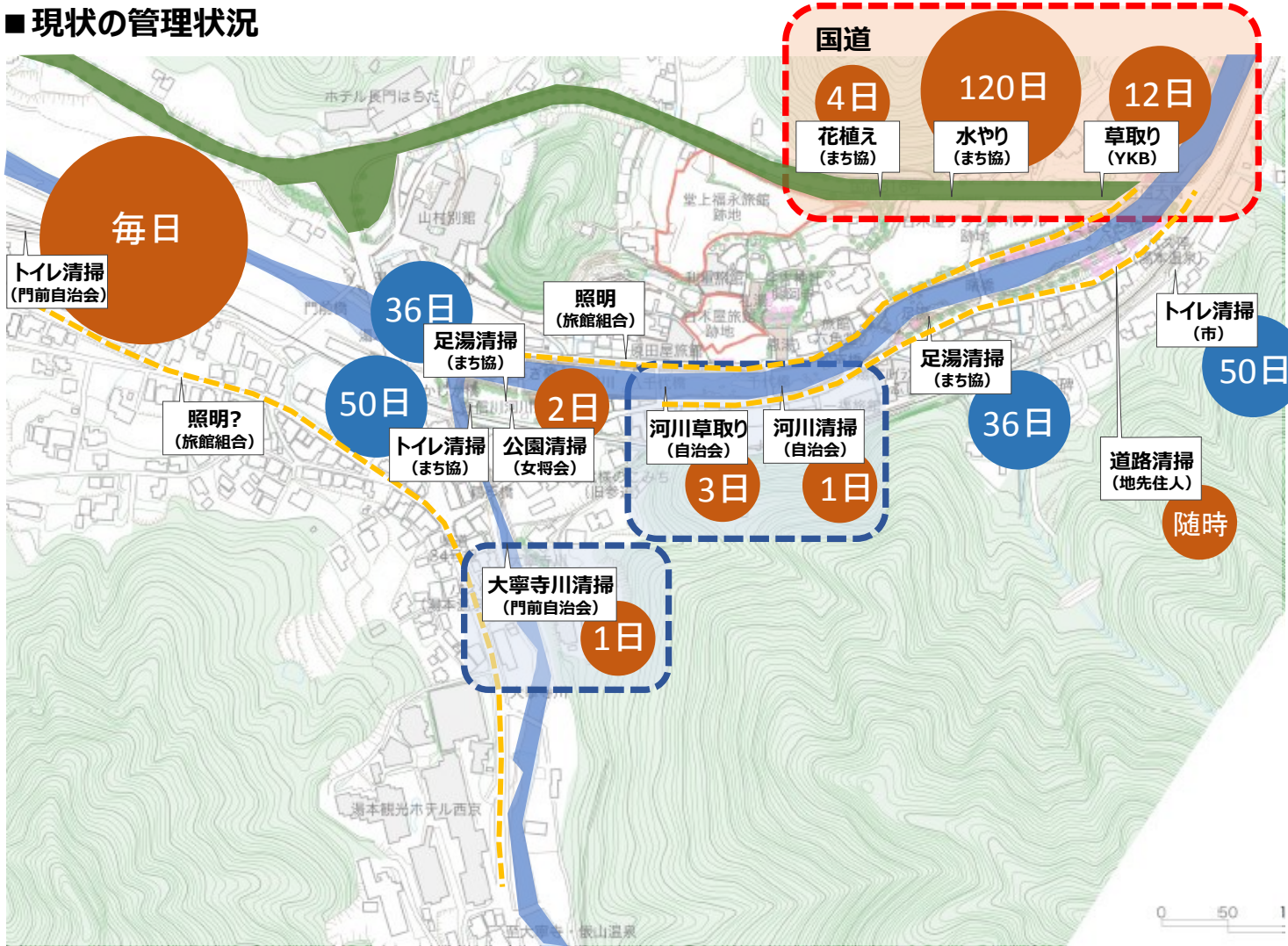
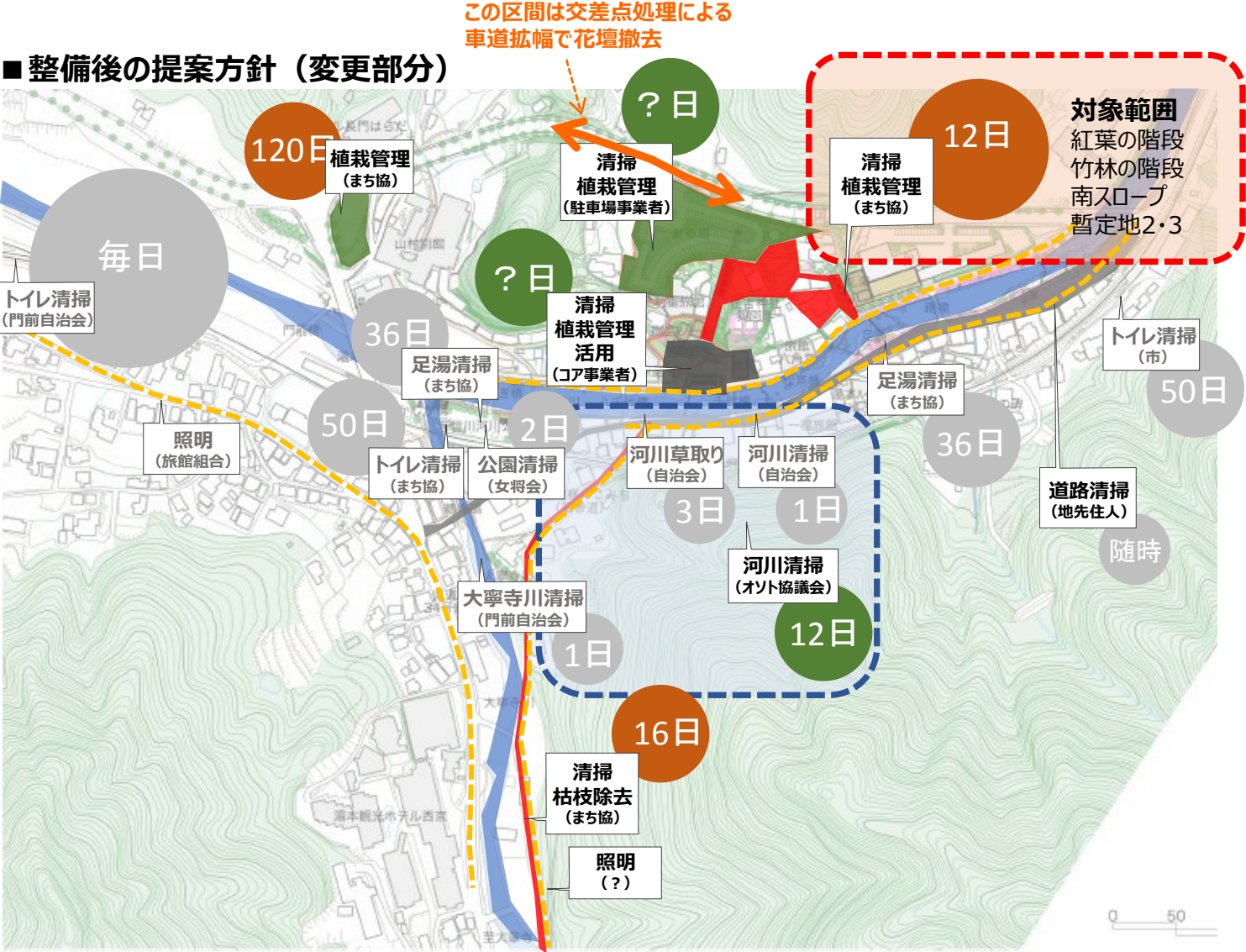


■ 公共空間の維持管理について（現状整理と整備後提案）

■ 現状の管理状況



■ 整備後の提案方針（変更部分）



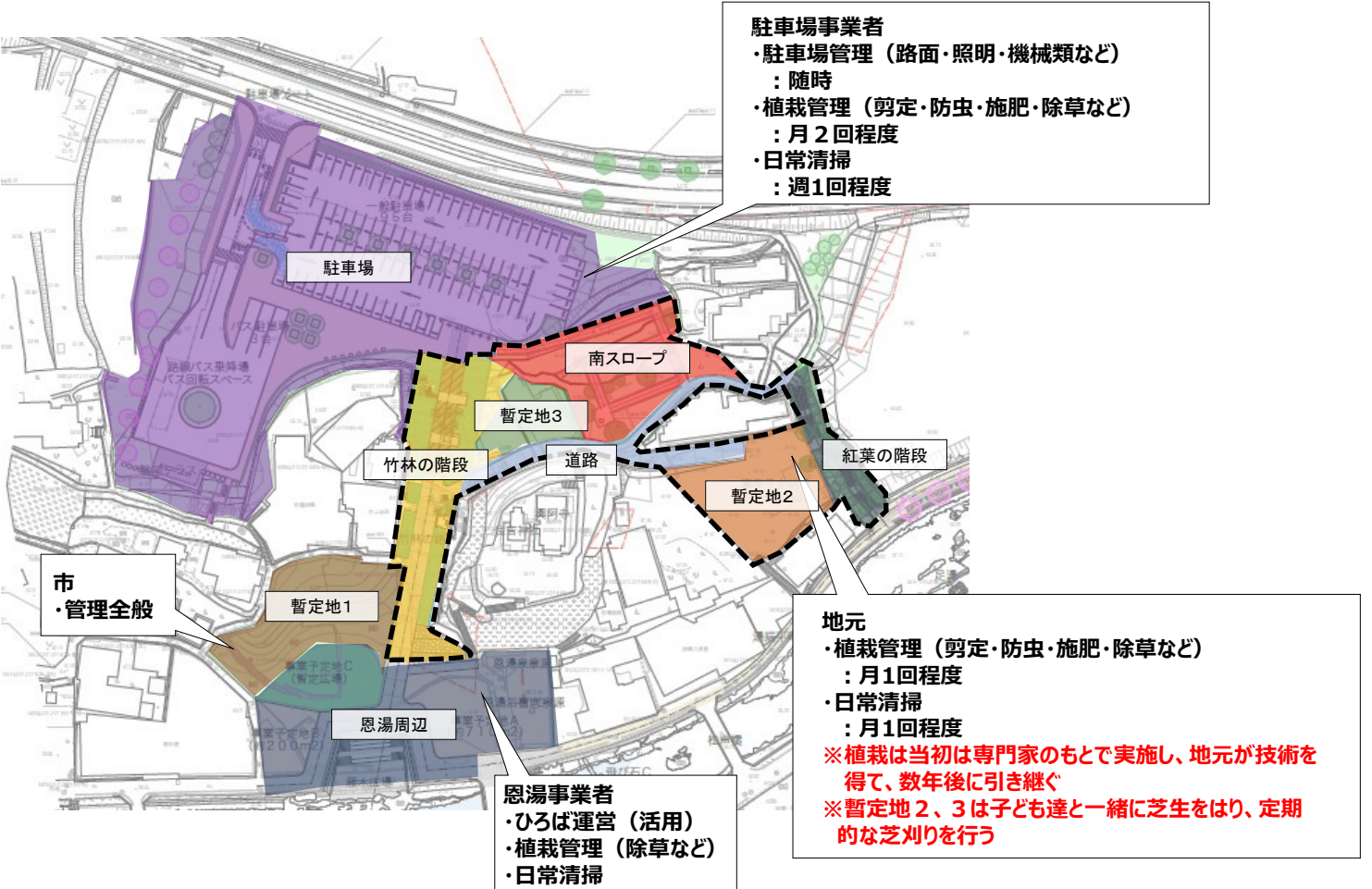
■ 地元管理の比較

場所	現状	整備後
国道	4日 120日 6日 × 40人 × 5人 × 8人 (湯本2/門前3) 810人	交差点植栽のみ継続 国道歩道はなし 120日 × 0.5人 60人
河川	4日 1日 6日 × 30人 × 30人 × 8人 (湯本) (門前) (YKB) 200人	4日 1日 12日 × 30人 × 30人 × 5人 (湯本) (門前) 6日 × 8人 (YKB) 260人
中心部	—	12日 × 20人 240人
大寧寺参道	—	16日 × 5人 80人

■ 花壇の整備について



■ 新規エリア詳細



■ 公共空間の維持管理の考え方

行政の役割

- 民間投資が起こるための条件づくり
- ①推進体制づくり（推進会議やデザイン会議の設置運営）
 - ②ハードインフラ投資（道路、河川、駐車場、照明等）
 - ③制度設計（河川・道路の公共空間利活用の規制緩和等）

- 標準的な公共空間整備の場合
- ・ハード整備
 - ・大規模修繕
 - ・植栽管理（樹木剪定）
 - ・照明電気代

- 標準を上回る公共空間整備の場合（今回の湯本の事業）
- ・ハード整備
 - ・大規模修繕
 - ・照明設備更新

地域・事業者の役割

- エリア価値を高める事業で稼ぐ、質の高い空間を維持管理
- ①地域を1つの経営体とみたてて推進する体制づくり・意思決定
 - ②エリアの価値を高める事業の実施、公共空間の利活用
 - ③標準を上回る整備空間についての維持管理

- 標準的な公共空間整備の場合
- ・日常清掃
 - ・植栽管理（除草）
- 標準を上回る公共空間整備の場合（今回の湯本の事業）
- ・日常清掃
 - ・植栽管理（樹木剪定・除草など）
 - ・利活用
 - ・照明維持管理（照明コントロール、玉替え）・電気代

■ 公共空間の箇所別維持管理・役割分担案

	駐車場	竹林の階段	南スロープ	紅葉の階段	恩湯・飲食	恩湯周辺道路	雁木広場	恩湯広場	暫定地 1	暫定地 2	暫定地 3
公共照明 （維持管理・電気代）	指定管理 （予定）	組合？	組合？	組合？	湯守	組合？	組合？	組合？	組合？	組合？	組合？
植栽管理	指定管理 （予定）	まち協	まち協	まち協	湯守	湯守	湯守	湯守	市	まち協	まち協
清掃	指定管理 （予定）	まち協	まち協	まち協	湯守	湯守	湯守	湯守	市	まち協	まち協
運営・管理	指定管理 （予定）	市	市	市	湯守	湯守	県	湯守	市	市	市
修繕	市 or 指定管理	市	市	市	湯守	市	県	湯守	市	市	市
整備	市	市	市	市	湯守	市	県	市	市	市	市

【公共空間の維持管理の考え方】

【経緯】

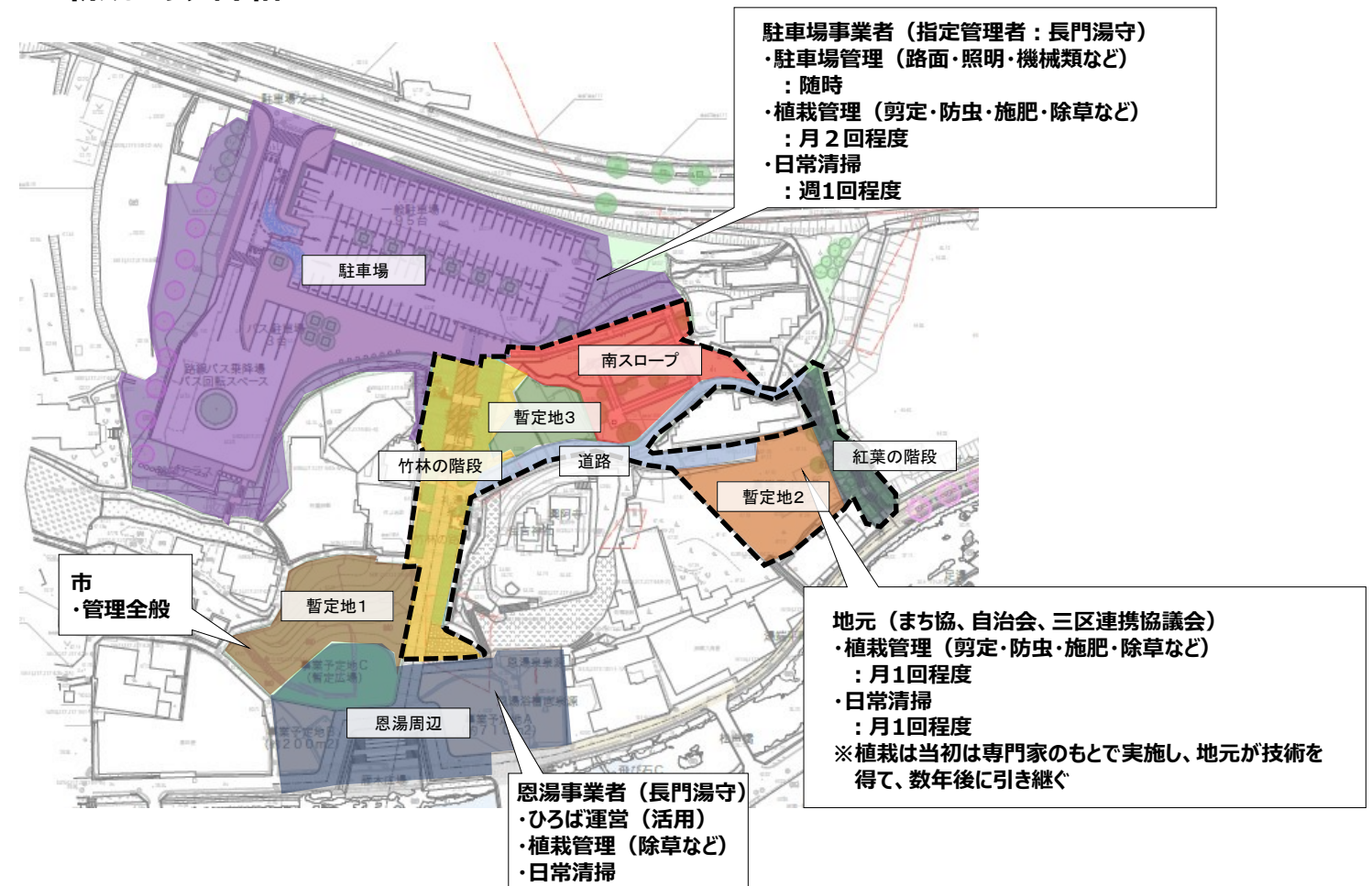
- 当初検討時（第5回推進会議）では、入湯税の引上げによる財源確保の議論が進んでいなかったこと、エリマネ会社の設立が見えていなかったことから、当時の可能な範囲で検討がなされていた。
- その後、入湯税の引上げによる財源確保、エリマネ会社の設立の目途が立ったことから、改めて景観インフラの維持管理について役割分担を再整理する。

【検討の方向性】

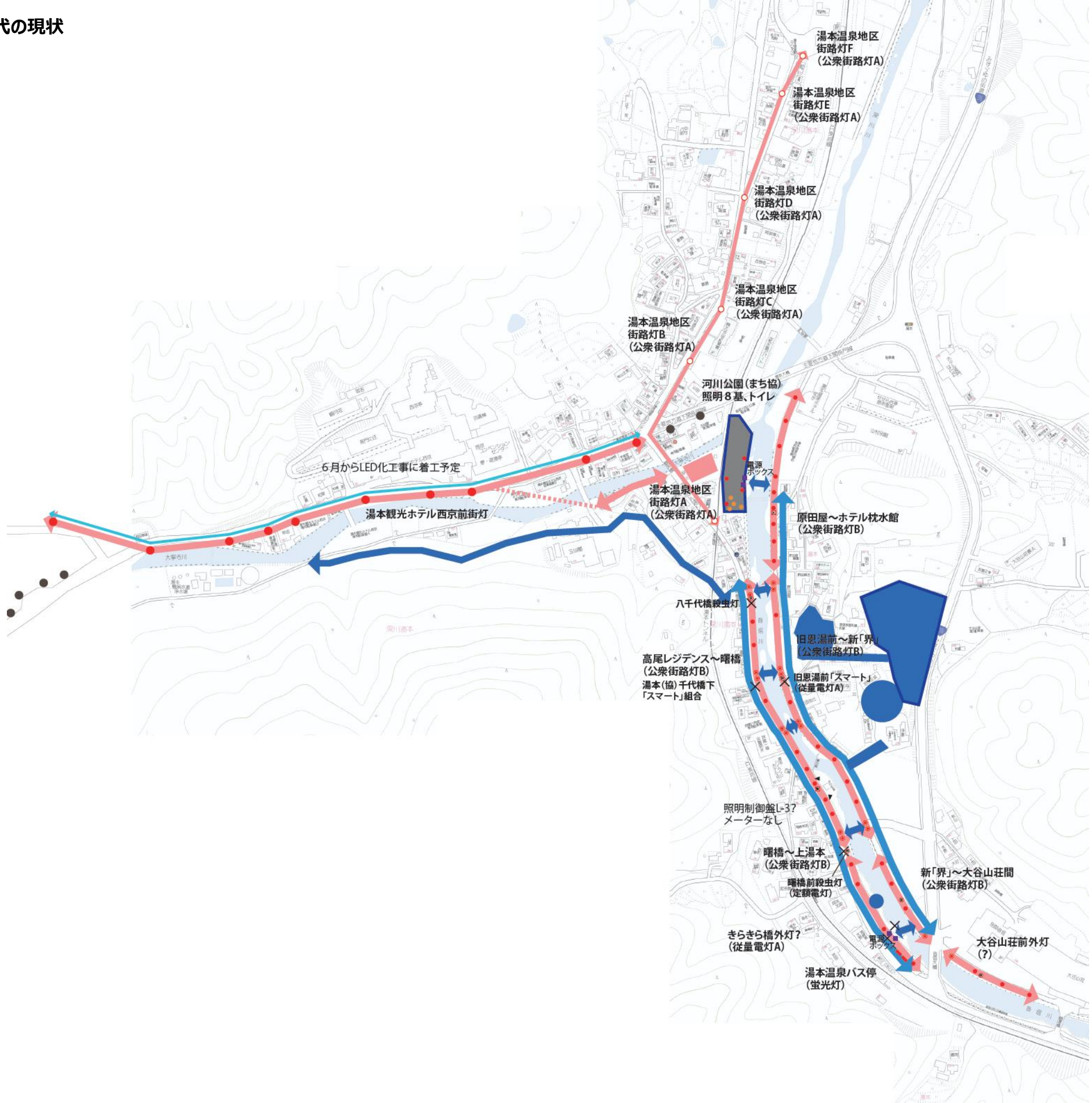
- 道路及び照明については、市の施設であり、第9回推進会議においてもその修繕は市が行うこととして、入湯税引き上げ分を財源として700万円/年を積み立てることとしている。毎年緊急的に必要な修繕に対応するため100万円を予算化。脱色Asなど通常のスペックを超えるグレードアップ分の修繕が発生する・した場合は、別途予算化したうえでグレードアップ分を基金を取り崩して充当する。
- 毎年700万円の積み立て額の範囲で、市は景観インフラの維持修繕を行う。その額に収まらない場合は市とエリマネ会社で協議する。覚書を別途締結し内容を書き込む。
- 照明の電気代については、現在旅館組合（河川公園のみまち協）が負担しており、当初は旅館組合が整備後も負担する方針であったが、エリマネ設立に関する協議において電気代はエリマネ会社が負担することとなったため、入湯税を原資としてエリマネ会社が負担する。
- 植栽の管理については、中長期的な景観デザインの維持の観点からは一つの会社がまとめて継続的に行うことが望ましい。そのため、入湯税及び道路維持管理経費を財源としてエリマネ会社が一元的に対応することが理想であるが、必要な業務量等が予測できないため、当面は高木（定義は別途調整）については市が実施し、運営方法を検討し、必要あればエリマネ会社に移行する。

【役割分担の整理案】

		駐車場	恩湯広場 (芝生エリア)	河川公園	組合 事務所	音信川・ 大寧寺川	国道	その他道路（竹林の階段、紅葉の階段、ゆずきち坂、大寧寺旧参道 等） ※県道は県土木事務所が管理
道路・用地内	清掃	指定管理者である湯守が実施	借受人である湯守が実施	まち協、三区連携協議会が実施 ※トイレ、足湯はまち協が市の委託を受け実施	組合が実施 ※変更なし	まち協、三区連携協議会+オソトが実施	まち協、三区連携協議会が実施 ※交差点花壇のみ	まち協、三区連携協議会+オソトが実施
							県が実施	※必要な用具、人件費負担等はエリマネが400万円の維持管理費の内数で負担
	補修・修繕	指定管理の協定に従い分担（5万円未満の修繕は指定管理者など）	借受人である湯守が管理	市が実施（700万円/年の積立を活用）	組合が実施 ※変更なし	飛び石等の補修は県が実施	県が実施	道路管理者である市が基金を活用して実施（700万円/年の積立を活用）
	植栽維持	指定管理者である湯守が実施（R2までは想定せず、R3以降は必要に応じて市から指定管理費で支出）	借受人である湯守が管理	市が実施（年1回） ※変更なし	—	市が実施 ※道路と一体	県が実施	高木：当面は市が実施（高所作業車が必要な樹木） ※当面は市道維持管理費で負担（湯本・渋木エリアで年150万円） ※管理負担や景観維持の状況を踏まえて、1年後を目途に役割分担を再度エリマネと協議
								それ以外：エリマネが基金事業として実施（400万円の維持管理費の内数）
	電気代	指定管理者である湯守が負担	—	エリマネが基金事業として負担（400万円の維持管理費の内数）	組合が負担 ※変更なし	—	県が実施	エリマネが基金事業として負担（400万円の維持管理費の内数）
照明	補修・修繕	指定管理の協定に従い分担（5万円未満の修繕は指定管理者など）	—	市が実施（700万円/年の積立を活用）	組合が負担 ※変更なし	—	県が実施	防犯灯：各自治会が負担 ※変更なし
								市が基金を活用して実施（700万円/年の積立を活用）



■ 街路灯の電気代の現状



■ 契約エリア

